

## 市の方針と重点

### <方針>

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成  
持続可能な社会の創り手の育成

### <重点>

自分らしく一歩踏み出し、挑戦する子の育成  
持続可能な社会の創り手の育成、ウェルビーイングの向上、郷土教育、キャリア教育。プレゼン教育、ICT教育

## 学校教育目標

**ふるさとを愛する  
心豊かな たくましい子**

考え話す子  
助け合いやり抜く子  
やさしく元気な子

## 学校課題

- ・受け身でなく、自分で考え、動き出し、結果に責任をもつ
- ・学びを自分とつなげて考え、発信する
- ・固定化された見方を打破し、多様なものの見方ができる
- ・小規模校の強みを生かした学校経営を推進する（ICTの効果的な活用）

## 地域の願い

人の心の痛みを知り、困難にくじけずに立ち向かっていける子

【育てたい資質・能力】 対話を通して自分の考えをつくり 動き出す力

## 【めざす学校像】

主体性を発揮し、タテ、ヨコ、ナナメの人と協働して学ぶ学校

タ テ…担任（授業者）、保護者  
ヨ コ…同級生、友達、仲間  
ナナメ…地域、外部講師、様々な教職員

学 習：対話を通して、  
自分の考えを深め広げる

### ○主体性・協働性〈主体的・対話的で深い学び〉

- ・課題の意図や目的を理解し、立ち返らせる授業
- ・次の一手を自ら考え、選択できる環境と習慣
- ・相互比較し、議論していく対話（学ぶ楽しさ）  
（1時間の児童の対話時間50%以上）
- ・表現・判断の礎となる論理的思考・批判的思考
- ・効果的なICT活用

### ○まちづくりへの参画〈ふるさと教育の充実〉

- ・ヒトモノコトに触れて学ぶ地域の魅力と課題
- ・自ら問いを立て、追究していくプロセス
- ・未来の創り手としての地域への発信、提案

生 活：対話を通して、  
自分・学級・学校を高める

### ○主体性・協働性〈キャリア教育・居場所づくり〉

- ・「なりたい自分」を意識して進める行事
- ・一人一人の良さが生かされる役割と責任
- ・任せ、ゆだねて自治力を高める活動  
◇児童会活動 ◇縦割り活動（なかよしDAY）  
◇全校での認め合い活動（全校集会）
- ・相手を理解し、認め、尊重していく対話
- ・居場所づくり（学級 縦割りグループ）
- ・相談体制の充実（心のアンケート、マイサポーター）
- ・もめたときに折り合いをつけられる解決力

## 地域とともにある学校

子どもの未来をともに考える地域・保護者・PTA・保小中〈学校運営協議会・北稜校区連携会議〉

- ・願いや課題を共有と見届け ・多様な考えにふれる交流（栃尾小との交流 海の子山の子交流 地域講師）
- ・持続可能なふるさと教育の推進（自然 産業 文化 人はちの子発表等）
- ・win-winの関係構築と検証 ・孤立しない子育てを支える家庭教育学級

## 本郷小職員としての構え

### 『専門性・指導力向上のために』

- ・教科の専門性を高める教材研究
- ・児童支援の基盤となる職員研修
- ・自己決定に向かう支援（エンパシー的関わり）  
「どうしたの?」「どうしたいの?」「何に困っているの?」
- ・危機感をもった組織対応「誠意＝スピード」

### 『毎日笑顔で向き合うために〈働き方改革〉』

- ・心身の健康管理
- ・観の転換（当たり前を疑う）
- ・退校時刻後の業務内容確認
- ・月半ばでの時間外勤務状況確認  
（上限：月45時間、年360時間）